

保護者 様

尼崎市立竹谷小学校
校長 峯本 千鶴

令和7年度 学校教育推進アンケートの結果(保護者)

保護者の皆様には、日頃より本校の教育推進にご理解とご協力いただいております。厚くお礼申し上げます。
さて、過日行いました保護者アンケートの集計ができましたのでご報告いたします。
結果を真摯に受け止め、課題につきましては、これからの学校教育活動に活かしてまいります。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(回答率：45.6% 回答数 131人/全児童287人)

A: よくあてはまる B: ほぼあてはまる C: あまりあてはまらない D: 全くあてはまらない E: わからない

学校に関する事

人数集計表 (単位：%)

竹谷小学校は

	A	B	C	D	E	A+B	C+D
1 基礎的・基本的な学力が身につくよう、指導を行っている。	27	66	3	0	4	93	3
2 児童の内面理解に努め、「心」を育てる指導に取り組んでいる。	22	61	5	3	8	83	8
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組んでいる。	31	57	7	0	5	89	7
4 児童の安全や防犯・防災に配慮した環境作りを行なっている。	27	60	8	1	5	87	8
5 子どもの間違っただ行動等については、きちんと指導している。	34	49	8	1	8	82	9
6 家庭への連絡や学校・学年だより等で情報の発信を適切に行なっている。	47	48	3	1	1	95	4
7 家庭や地域との連携を深め、信頼される学校作りに取り組んでいる。	25	61	5	1	8	86	6
8 校舎内の掲示や校舎内外の清掃が行き届いている。	37	55	5	2	2	92	7

【学校から】本校の教育活動に対し概ね肯定的な評価をいただきました。特に・基礎基本的な学力の育成・児童理解を大切にした指導・健康づくりや体力向上への取り組み・家庭や地域との連携 については、高い評価をいただきました。日々の教育活動や地域・保護者のみなさまとのつながりが着実に積み重なっていることの表れであると受け止めています。一方で、・情報発信の在り方・学校の取り組みの見える化・環境整備については、さらに充実させていく必要があることも見えてまいりました。いただいたご意見を真摯に受け止め、子どもたち一人ひとりが安心して力を発揮できる学校づくりを進めてまいります。

児童に関する事

人数集計表 (単位：%)

お子さんは

	A	B	C	D	E	A+B	C+D
1 学校へ行くのを楽しみにしている。	40	45	11	3	1	85	14
2 授業がわかりやすいと言っている。	24	54	11	0	10	79	11
3 学級・学校の中に、仲の良い友達がいる。	66	29	2	0	4	95	2
4 挨拶や返事が良くてできている。	39	52	8	0	2	91	8
5 相手を思いやる心や 命を大切にできる態度が育ってきている。	39	54	4	0	3	93	4
6 自ら宿題に取り組む等、家庭での学習習慣が身に付いている。	21	50	22	3	4	71	25
7 図書室等で本を借りたり、本を読んだりする習慣が身に付いている。	17	32	37	8	5	49	46
8 身の回りの整理・整頓ができ、持ち物を自分で用意できる。	17	41	37	4	1	58	41

【学校から】この結果から、子どもたちが友だちと仲良く過ごし、あいさつや命を大切にできる心をしっかりと育てている様子が見えてきます。「学校へ行くのを楽しみにしている」と感じている児童が多いことは何よりうれしい結果です。一方で、家庭学習や読書習慣については、さらに伸ばしていきたい課題も見えてきました。自ら学びに向かう力を育てていくことは、子どもたちにとって大切な力です。学校でも授業の工夫や読書活動の充実を通して、子どもたちの学ぶ喜びを積み重ねてまいります。

家庭に関する事

人数集計表 (単位：%)

ご家庭では

	A	B	C	D	E	A+B	C+D
1 早寝・早起き・朝ごはん等、基本的な生活習慣が身に付くよう心がけている。	30	56	13	0	1	86	13
2 正しい言葉づかいや、善悪の判断ができるよう気をつけている。	30	58	11	1	1	88	11
3 学校の様子について聞き、子どもとよく話をするようにしている。	48	47	4	0	1	95	4
4 ゲームや携帯電話等は、時間やルールを決めて使用させている。	29	37	29	5	0	66	34
5 授業参観・懇談会・学校行事などには参加している。	48	42	9	0	1	90	9

【学校から】ご家庭において、基本的な生活習慣の定着に努めていただいていることがわかります。日頃のご家庭での支えをいただきありがとうございます。3・5番の結果から、学校との繋がりを大切にいただいている様子が見えてきます。本校にとって大きな力となっています。一方で、4番の項目は他の項目と比較するとやや低い結果となりました。情報機器との適切な関わり方はこれからの時代の重要な課題です。学校でも情報モラル教育を継続し、ご家庭と連携しながら子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。